

留学報告書



留学先国	アメリカ
留学先高等教育機関名	エドモンズコミュニティカレッジ
留学期間	2019年9月～2020年3月
留学を開始した時の学年	2年生

留学費用（概算）

授業料（プログラム費用）	70万円
保険料	2万円
宿舍費（1か月あたり）	10万円
食費（1か月あたり）	2万円
渡航旅費	15万円

滞在形態関連

1) 種類
寮。
2) 部屋の形態
相部屋（3人）。
3) 設備
シャワー、お風呂（浴槽）、トイレ、エアコン、キッチン、ランドリー、インターネット、Studying Room、宅配ボックス。
4) 住居を探した方法
留学先大学のホームページ。

現地情報

1) 大学内の医務室／診療所や付属の病院などで医療サービスを受けることは可能でしたか？

はい。

2) 現地で病院にかかったことはありますか？

いいえ。

3) 保険について、現地の医療保険に加入しましたか？

いいえ。

4) 留学にあたり、必須の予防接種はありましたか？

いいえ。

5) 学内外で問題が発生したときは、誰に相談しましたか？

留学先の友人、大学のカウンセラー。

6) 現地の治安はどうでしたか？また、現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか？また、実際に窃盗等を含む犯罪に巻き込まれた場合、どのように対処しましたか？

エドモンズコミュニティカレッジがあるワシントン州、リンウッドはとても治安が良い環境でしたが、シアトルなどの大きな街に出ると少し治安の悪さを感じます。実際、留学中に発砲事件がシアトルのダウンタウンで起きていました。

夜、一人で出歩かないことを意識すればそれほど治安の面では心配する必要はないと思います。

7) パソコン、携帯電話、インターネット接続について、現地での利用はいかがでしたか？

寮のインターネット環境はとてもよく、何も問題はありませんでした。

また図書館でも自由に Wi-Fi を使うことが出来ました。SIM カードは最初のオリエンテーション期間で大学側から指定されるものがあるのでそれを購入することをお勧めします。無制限のプランで月約 6000 円ほどでした。ギガが制限されていてもう少し安いプランもあったと思います。携帯会社は T-Mobile という大手の会社なのでとても接続は良かったです。

8) 現地での資金調達はどうに行いましたか？

日本でデビットカード 1 枚を作りそれを使っていました。

しかし、デビットカード 1 枚、クレジットカード 1 枚ずつ持つていくことを強くお勧めします。

僕は現地で一度デビットカードを失くしてしまいとても困りました。なのでカード類は必ず 2 枚以上持つていくべきだと思います。

9) 利便性、買い物はどうでしたか？また現地では調達できない日本から持つていくべき物がありますか？

徒歩 15 分圏内でスーパーマーケットが 3 つほどあります。

またバスで 20 分ほどのところに日本でいうショッピングセンターのようなものがあり、エドモンズコミュニティカレッジの学生は 30 ドルほど払うと使える定期券のようなもの

<p>で行くことができます。</p> <p>シアトルのダウンタウンまでは決して近くはなく、バスで 1 時間ほどかかりますが、往復 8 ドルほどで行くことができます。</p>
<p>10) 授業料（またはプログラム費用）は、どのように支払いましたか？</p>
<p>クレジットカード。</p>
<p>11) その他、生活等に関して参考となることがあれば教えてください。</p>

渡航について

<p>1) 現地空港から滞在先まで、どのようにして向かいましたか？</p>
<p>留学先大学のピックアップサービス。</p>
<p>2) 到着後にオリエンテーションはありましたか？あった場合、どれくらいの期間行われていましたか？</p>
<p>はい。1 週間。</p>

学習・研究活動についてのレポート（履修した科目ごとに記入してください）

<p>履修した授業科目名</p>
<p>ANGEL93</p>
<p>授業内容や試験、授業を受けた感想について</p>
<p>英語の基礎的な Writing と Reading の授業。</p> <p>週ごとに文献が渡され、それについての自らの意見を書くという授業スタイルでした。</p> <p>先生は親切で質問にもしっかりと答えてくれました。難易度としてはそこまで難しくなく、英語が第一言語ではない人のための授業といった印象でした。</p>

<p>履修した授業科目名</p>
<p>ANTH2006</p>
<p>授業内容や試験、授業を受けた感想について</p>

国ごとの文化や言語の違いから多様性を学ぶ授業
 グループごとのプレゼンや個人でのプレゼンがありとても楽しかったです。様々な国から来ている学生が、自らの国の伝統の料理を持ち寄りみんなで食べるなど、様々な授業スタイルがありました。
 課題はエッセイなどがあり少し大変でしたが、とても楽しい授業でした。

履修した授業科目名

MGMt100

授業内容や試験、授業を受けた感想について

グループや会社の中で、どのようにして良い人間関係を作り上げていくかという授業。
 この授業でもグループワークがあり、とても楽しかったです。実際グループの仲間たちとご飯を食べに行ったりもしました。

履修した授業科目名

BSTE107

授業内容や試験、授業を受けた感想について

講義名としては Business English でしたが、実際は基本的な英文法を学ぶ授業。
 宿題は毎週出される、クイズ。量が多いが難易度は高くなかったです。
 授業スタイルも先生がスクリーンを使いひたすら講義するというものでした

履修した授業科目名

COMM101

授業内容や試験、授業を受けた感想について

コミュニケーションの授業。様々な文化背景を持つ人々との間でどのようにコミュニケーションをとることが大切かを学ぶ授業。

授業中には近くの席の人と毎週、授業前に出されるお題について話し合う。

課題は毎週出されるクイズ。加えて 1,000 から 2,000 文字程度のエッセイが二つ。

さらに Discussion board という課題がありました。

期末試験は 50 問ほどのクイズをオンラインで受けました

履修した授業科目名

MGMT130

授業内容や試験、授業を受けた感想について

マーケティングの基礎を学ぶ授業。

期末試験はなく、グループでのプレゼンテーションがありました。

課題としては毎週、教科書を 50 ページほど読み、それを自ら要約する課題や Discussion Board がありました。

留学体験記

<p>留学しようと決めた理由や、この留学先を選んだ理由</p>	<p>僕が留学を決めた理由は2つあります。</p> <p>1つ目の理由は、英語力の向上のためです。大学1年生の頃からスピーキングが得意ではなかったので、会話力を向上させるために英語圏の国に行こうと決めていました。TOEFLでもスピーキングのセクションで良い点を取ることが出来なかったため、留学によるスピーキング力の向上は自分の中で一番大きな留学を決めた理由でした。</p> <p>2つ目の理由は、自分の視野を広めるためです。違う文化の国で過ごすことは自分の視野を広げることだと考えていました。違う文化を持つ国で暮らす、自分の母国語でない言語で日常的にコミュニケーションを取るといった経験は日本では経験できないものだと考えていたので留学をしようと決意しました。</p>
<p>留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備</p>	<p>留学の準備は1年生の10月頃から始めていました。留学に関する本や、先輩の話を聞いて準備をしていました。またビザの申請には少し時間がかかるため前もって準備していました。</p> <p>しておけば良かったと後悔していることはTOEFLの勉強です。もう少ししっかりと勉強して高得点を取っておくべきだと思いました。自分の行きたい大学の基準点を指すのではなく、出来る限りの高得点を目指して勉強するべきだと思います。</p> <p>72点以上取ると留学先の選択の幅が広がるので、そこを目指して勉強することをお勧めします。</p> <p>また留学半年ほど前からは明治大学、エドモンズコミュニティカレッジ両方への提出書類が多くあります。ギリギリになって不備が見つからないように前もって丁寧に準備しておくべきだと思います。</p>
<p>留学中に役立った書籍、ウェブサイト、アプリ等</p>	<p>留学中はCANVASというアプリを頻繁に使用します。</p> <p>このアプリを使って、課題を提出したり、シラバスを確認したり出来ます。</p> <p>次回の授業の連絡なども掲載されることがあるので毎日確認することをお勧めします。</p> <p>留学中はYouTube等で英語の勉強もしていました。半年間や10か月の期間だと日常生活の中だけでの英語力の向上には限度があると思うので、現地では出来る限り娯楽なども英語と触れ合うことをお勧めします。</p> <p>外務省からのメールを受信できるように設定しておくことで現地の情報が素早く手に入るのをお勧めです。</p>

<p>大学・学生の雰囲気 (職場や同僚の雰囲気)</p>	<p>エドモンズコミュニカレッジは一言でいうと「多様性」が溢れる大学です。</p> <p>現地の人はもちろん、東南アジア諸国、韓国、中国、アフリカ、ヨーロッパ等様々な国からの学生がいます。日本人の学生も多くいます。現地の学生は多くの人種が集まっている環境に対して寛容であり、そのため差別などはまったくなく、とても過ごしやすい環境でした。教授もみんなとても親切で授業もとても楽しいものが多かったです。大学の設備も充実しておりカフェテリア、ジムなどもあります。</p> <p>また、コミュニカレッジの特徴として幅広い年齢層の方がいます。同年代の学生から、親世代の人たちまで幅広い人々と交流できたことも素晴らしい経験でした。</p>
<p>滞在先の雰囲気</p>	<p>僕はキャンパス内の寮に住んでいました。ルームメイトはカナダ人、シンガポール人、フランス人ととても国際色豊かなメンバーでした。そのためとても楽しく仲良くなり、一緒にご飯を食べたり、トランプをしたりしました。</p> <p>設備やセキュリティはしっかりとしており、とても快適に過ごすことが出来ました。一階にはコミュニティールームと言われる部屋があり、そこで卓球やビリヤードをすることが出来ます。友達を作るのにとてもいい環境だと思います。</p> <p>1つ不満だった点は洗濯が有料だった事です。洗濯に2ドル、乾燥に2ドル、合計4ドル毎回の洗濯にかかります。</p>
<p>留学先における交友関係</p>	<p>基本的にルームメイト、ルームメイトの友達、オリエンテーション期間に仲良くなった友達と一緒にいました。</p> <p>先輩の留学報告書で現地の友達を作るのが難しいと書いてありますが、実際に僕も少しその事を感じました。しかし結局のところは自分次第だと思います。</p> <p>授業中に仲良くなった現地の友達もいます。しかし現地の人の英語は聞き取るのが難しく最初はなかなか仲良くなるのが大変でした。どの人にも当てはまるとは思いますが、自分から話しかける、友達になりたい態度を表すこのことがとても大事だと思いました。</p>
<p>留学中に困ったこと、つらかったこと、大変だったこと</p>	<p>留学中に困ったことは日本とのギャップです。</p> <p>日本はとても便利な国なんだと気づかされました。電車は10分に1本は必ず来るし、自動販売機は至るところにあるし、コンビニエンスストアは本当にコンビニエンスなのが日本です。しかしそれは当たり前ではありません。</p> <p>バスが遅れるのは当たり前、コンビニの品ぞろえも日本に比べればよくありません。そのような違いに少し戸惑いました。</p> <p>しかし店員さんが話しかけてきたり、洋服屋の店員が自分の着て</p>

	<p>いる服をほめてくれたり、友達にいたっては髪型を褒められていました。店員さんのフレンドリーさに戸惑うこともあると思いますが、僕はその文化が大好きになりました。</p>
<p>留学先における学習、課題や試験</p>	<p>アメリカの大学でびっくりしたことは課題の量です。毎日、毎週必ず出ます。授業の後は図書館で必ず課題をやっていた。最初の頃はなかなか大変でしたが、徐々に慣れていき、効率よくやれるようになります。</p> <p>少しずつ、早めにやっていくということの大切さを身に着けたことも留学中のいい経験でした。</p> <p>課題の量は日本の大学では経験できない量ですが、しっかりとやれば必ずの自分のためになります。</p> <p>試験は授業によってバラバラですが基本的には筆記の期末テストがあります。ない場合はプレゼンやエッセイが課題として提出されました。</p>
<p>大学外の活動（課外活動や自由時間など）</p>	<p>休みの日は家でゆっくりしたり、友達と課題をしたり、ダウントウンに出かけたりしていました。シアトルのダウントウンには美味しいご飯やおしゃれなカフェがたくさんあるので巡ってみるのも良いと思います。</p> <p>また大学からバスで 30 分以内でいける範囲にビーチがたくさんあるので息抜きに行くこともお勧めします。</p> <p>英会話力を向上させたい人はなるべく家にこもらず他の国の友達と遊ぶことをお勧めします。</p> <p>課外活動としては現地でクラブを作り、代表として活動していました。クラブでの経験を通じて様々な人と出会うことが出来たのでとても楽しかったです。もし興味があればぜひ参加してみてください。</p>
<p>留学を志す人へメッセージやアドバイス</p>	<p>留学中は困難もあると思いますが、その 3 倍楽しいことがあると思います。</p> <p>楽しい留学にするには自分からの積極的な行動が大切です。苦しいことがあってもいい経験だと思えるようにしていました。</p> <p>英語力の向上、視野を広げる。どちらの目標も達成出来たと感じています。そしてそれが出来たのは自ら行動出来たからと思っています。</p> <p>限られた時間での留学は毎日を考えて過ごすことが大切です。やることはしっかりとやり、楽しむところは全力で楽しんで下さい！！</p> <p>健康にも気をつけてください。</p>